

ひよこだより

和歌山ろう学校 幼児教室（ひよこ組） 令和8年 9月号

No. 6

ピクニックに行ってきました

9月29日に秋のピクニックへ行ってきました。あいにくの雨でしたが、9組の家族が参加しました。いちご電車に乗っての旅。ほとんどの子どもにとって電車に乗るのは初めてとのことでした。ホームで待っていると「カンカンカン♪」と踏切の音が聞こえ、「なに?なに?」と不思議そうな表情の子どもたち。みんな「くるよ!くるよ~!あ!電車がきたー!」と、ママたちから興奮した声が上がりました。車内では少し緊張気味のみんな。じっと前を向いて座っている子、窓の外風景を眺める子、先頭車両の一番前から前方をじーっと見つめる子など、それぞれが車内の雰囲気を感じているようでした。終着駅の「貴志駅」では集合写真を撮影し、少し散策タイム。駅長の猫「よんたま」を見たり、ショップを覗いたりして過ごしました。帰りの車内ではみんなの緊張もほぐれ、リラックスした表情が見られました。ぜひ、お休みにはご家族で電車旅に出かけてみてはいかがでしょうか?



秋のオノマトペ

7月号で「夏のオノマトペ」をご紹介しましたが、今回は「秋のオノマトペ+α（プラスアルファ）」のお話です。赤ちゃんや小さなお子さんにとって、身の回りの音に「気づく」こと、そしてその音に「意味がある」と知ることは、ことばの発達の大切な一歩です。

お散歩や公園で落ち葉を「カサカサ」「ザクザク」と踏んでみましょう。音がきこえたら、耳に手を当てるポーズをしたり「あ!きこえたね。カサカサっていったね」と表情豊かに伝えてあげてください。音と動作・感情を結びつける素敵なきっかけになります。

また、つい拾いたくなる「どんぐり」でも音遊びができます。どんぐりを空のペットボトルに入れるとマラカスの完成です。「大きな音」「小さな音」を比べたり、振り方を変えてリズムの変化を感じたりするのも楽しいですね。「ピタッ」と止めて「音がない（おしまい）」を感じる遊びもおすすめです。

先月のお便りでもご案内した通り、2学期はたくさんの保護者学習会を企画しております。保育体制も整えておりますので、ぜひお気軽にご参加ください。

今回は、11月10日（火）に行われる聴能担当による『きこえについて』の学習会の紹介をします。初めての方を中心に行いますが、以前に参加された方も大歓迎です。

【こんな疑問・お悩みはありませんか?】

- ・耳や“きこえ”ってどんな仕組みだったかな?
- ・病院や学校でもらうオーディオグラム、どんな見方だったかな?
- ・身近なものの音って、どれくらいの大きさだろう?
- ・補聴器をつけると、どんな風に聴こえているの?

「前に聞いたけれど、もう一度復習したい」「今さら聞きづらい…」と思っている方も大丈夫です。分かりやすくお話しますので、ぜひご参加をお待ちしております。

